

# 現代日本におけるキリスト教教会の役割に関する研究

## —軽井沢における教会の活動を事例として—

The Role of Churches in Contemporary Japan:  
The Case of Church Activities in Karuizawa

松井 茜  
MATSUI Akane

### 1. はじめに

#### (1) 研究の背景と目的

軽井沢はキリスト教教会（以下、教会）が多く集積する地域である。軽井沢は19世紀後半に外国人宣教師（以下、宣教師）によって発見されたことにより避暑地としての歩みを始めた。宣教師たちは軽井沢でキリスト教の会合を開くなど軽井沢は宗教的にも重要な地域であった。現存する教会を含めた軽井沢が持つ高原のどこか外国的な雰囲気は、今日も観光客の注目を集める。また教会やウエディング・チャペルでは非信者を対象としたキリスト教結婚式が行われるようになり、軽井沢はリゾートウエディングの発祥の地としても位置付けられている。こうした地域社会の変化から、教会に求められるその役割は変容してきた。

そこで、本研究では宣教師がキリスト教を持ち込んだ時代から、人々や社会の動きを受けて変容してきた観光地・軽井沢において、現在の教会がどのような役割を持つのかを従事者による聞き取りから明らかにすることを目的とする。

#### (2) 既往研究と本研究の位置づけ

軽井沢は、その成立の特徴から町自体への関心が高く持たれてきており、これまで別荘や宣教師、避暑客に関連する研究や、観光地やリゾートウエディングに関する研究などを通じて地域の特徴の解明が試みられてきた。その研究分野は、建築学や地理学をはじめ経済学や社会学など多岐にわたっている。軽井沢のキリスト教については宣教師やキリスト教結婚式について言及する研究はあるものの、宣教師に関する研究は主に戦前期を対象としたものに限られる。また、ウエディングに関する研究においてもキリスト教内部に焦点を当てたものはない。そこで本研究では、キリスト教的な雰囲気を持つ軽井沢において先行研究において看過されてきた現代のキリスト教の実態の解明を試みた。

#### (3) 論文構成と研究方法

2章では軽井沢におけるキリスト教の発展を現在の教会とこれまでの歴史から明らかにした。2節では、キリスト教教会の設立の経緯や現在の活動を明らかにした上で、教会の性格を分類した。3章では、

観光地としての軽井沢の変遷を文献調査と聞き取り調査から明らかにした。4章では、教会の活動を明らかにするために5件の教会の牧師を対象に聞き取り調査を行なった。5章は、これまでの調査で明らかとなったことから現在の軽井沢における教会が持つ役割に関して考察を行った。

### 2. 軽井沢におけるキリスト教の発展

#### (1) 軽井沢のキリスト教の歴史的展開

1895年に軽井沢最初の教会建築物が建立され、1905年には宣教師による伝道でキリスト教信者となった日本人のための教会が建てられた。第二次世界大戦前に設立された教会は軽井沢を訪れる外国人や日本人の避暑客及び新たに入信した住民に礼拝の場を提供することを初期の目的とし、草創期の避暑地の文化的伝統を作り上げ、戦後の教会は地元信者や村落部への宣教を活動の中心とした（軽井沢町誌刊行委員会、1989）。1960年代後半には教会で非信者への結婚式が行われるようにもなった。

#### (2) 現在の軽井沢のキリスト教教会

軽井沢町には教会をまとめるための「軽井沢牧師・司祭会」があり、現在10の教会が所属している。

1985年には教会の分類が軽井沢町誌刊行委員会（1989）により行われたが、分類が行われた当時から軽井沢の教会は変化し、その分類にはウエディング・チャペルも含まれていることから本稿では新たに2021年現在の教会の分類を行なった。

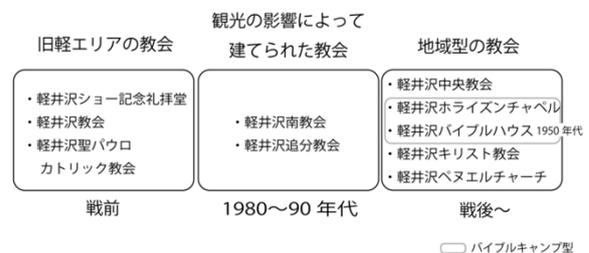


図1 軽井沢の教会の性格

第一は「旧軽エリアの教会」であり、戦前に設立され旧軽井沢エリアに位置する教会である。この分類の3教会はその歴史性と建築的特徴、旧軽井沢メインストリートからのアクセスの良さなどから観光

客の注目を集める。第二は「観光の影響によって建てられた教会」で、この分類の2教会は1987年と1992年という近い年代に建てられた教会で設立の経緯が観光の影響を受けていることがわかった。第三は「地域型の教会」でこの分類の5教会は聞き取りから地元信者に対してや地域における活動に注力していることがわかった。

### 3. 軽井沢の観光の変遷

観光地としての軽井沢は、「外国人による避暑地としての発見段階」(1886-1914年)、「日本人客参加段階」(1919-1955年)、「大規模レジャー開発による大衆化段階」(1956-1973年)、「日本随一の観光リゾートとしての成熟段階」(1974-現在)の4期に区分される(峯苦ほか, 2018)。メディアによって軽井沢が特集されるようになると観光客も増加した。1970年代以降は非信者の結婚式も増加していき、2009年には軽井沢観光協会を主体に軽井沢ウエディング協会が設立された。

### 4. 各教会の様相

本章では5教会を対象に聞き取り調査を行った。聞き取りの内容から各教会の信者、現在の活動を明らかにし、教会従事者による語りの分析から非信者に対する結婚式への対応、各教会の特徴を明らかにした。

### 5. 総合考察

本研究において明らかになったことは以下の通りである。

①「旧軽エリアの教会」と「観光の影響によって建てられた教会」の信者の居住地は軽井沢、長野県内、関東、海外に広がっており、「地域型の教会」の信者の居住地は軽井沢や長野県内を中心に一部東京も含まれる。②「旧軽エリアの教会」と「観光の影響によって建てられた教会」は超教派的な性格があり、非信者への結婚式にも寛容的で、非信者への結婚式を使命や宣教として行なっている。③非信者の結婚式が行われている教会(「旧軽エリアの教会」と「観光の影響によって建てられた教会」)では、結婚式におけるホテルやウエディング関係の会社の介入が見られる。④「地域型の教会」の軽井沢バイブルハウスと軽井沢中央教会では観光や別荘地から一定の距

離を取る姿勢が見られ、軽井沢ペヌエルチャーチでは聖書の言葉通りを信じる立場を取る性格が見られた。⑤「地域型の教会」は非信者の結婚式を行ってはいないが、牧師が教会の外のホテルやウエディング・チャペルなどで、結婚式の意味や説教に充てられる時間などで選択的に結婚式のアルバイトを行なっている。⑥各教会は、信仰の場であることの他に、町の文化施設や観光における町の看板としての機能も担っている。

表1 教会の性格と活動の分類

	旧軽エリアの教会 観光の影響によって建てられた教会	地域型の教会
信者の居住地	軽井沢、長野県内、関東、海外	軽井沢、長野県内、東京
教会の性格	超教派的	観光地や別荘から一定の距離 聖書の言葉通りを信じる立場
非信者の結婚式	○	×
ホテルやウエディング関連 会社との関わり	ホテルやウエディング関連会社が 教会での結婚式の補助	教会従事者がホテルやチャペルで 牧師として選択的にアルバイト
教会の活動		
信仰	日曜礼拝 聖書研究会	○
文化	コンサート 文化教室	○
観光	テレビ取材 バザー・お祭り	○
地域	支援活動	×
地域	コミュニティ活動	×

(聞き取り調査より作成)

各教会は、活動における非信者との接触では、社会による宗教イメージの拡大に伴う結婚式を通じた交流及びニーズへの応対も見られた。一方で、信者の減少・信者及び従事者の高齢化や、非信者に対する結婚式への葛藤、また先行研究で見られたような支援活動やコミュニティ活動への参加が少なく、地域とのつながりの薄さなどの課題も浮き彫りとなった。しかし筆者は、教会が存続していくためには、信仰の場であるだけでなく、非信者も視野に入れた活動の検討や、地域社会との相互理解と協力関係を築く必要があるのではないかと考える。今後は、教会が地域で存続していくための提案を行政との協力も視野に入れながら模索していきたい。

(参考文献)

- 軽井沢町誌刊行委員会 (1989) : 『軽井沢町誌 (民族編)』  
軽井沢町誌編纂委員会。  
峯苦俊之・十代田朗・津々見崇 (2008) : 成熟段階を迎えたリゾートにおける課題と将来像を巡る議論—長野県軽井沢町を事例として。都市計画論文集, 43(3), 607-612。

**Abstract:** This study analyzes the social roles of churches related to regional changes and qualitative characteristics by focusing on church activities in contemporary Karuizawa. In the late 19th century, Karuizawa was discovered by missionaries. Since then, Karuizawa has become a hill station and has been a resort destination. In this thesis, the classification of churches in karuizawa is conducted by their background of establishing, location and activities. Based on a comprehensive survey of literature review and hearing survey, it is found that each type of church has different characteristics. Furthermore, it is found that every church has expansion and changes of its social role in this area.